

四半期報告書

(第38期第2四半期)

自 平成21年8月1日

至 平成21年10月31日

株式会社ロック・フィールド

神戸市東灘区魚崎浜町15番地2

(E00482)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	8
(2) 新株予約権等の状況	8
(3) ライツプランの内容	8
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	8
(5) 大株主の状況	9
(6) 議決権の状況	10

2 株価の推移

3 役員の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	12
(2) 四半期連結損益計算書	14
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16

2 その他

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年12月15日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日）
【会社名】	株式会社ロック・フィールド
【英訳名】	ROCK FIELD CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩田 弘三
【本店の所在の場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	（代表）（078）435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【最寄りの連絡場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	（代表）（078）435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期連結 累計期間	第38期 第2四半期連結 累計期間	第37期 第2四半期連結 会計期間	第38期 第2四半期連結 会計期間	第37期
会計期間	自平成20年 5月1日 至平成20年 10月31日	自平成21年 5月1日 至平成21年 10月31日	自平成20年 8月1日 至平成20年 10月31日	自平成21年 8月1日 至平成21年 10月31日	自平成20年 5月1日 至平成21年 4月30日
売上高（百万円）	23,570	22,347	11,797	11,150	47,243
経常利益（百万円）	799	804	421	369	1,875
四半期（当期）純利益（百万円）	403	351	219	136	1,063
純資産額（百万円）	—	—	20,101	20,583	20,521
総資産額（百万円）	—	—	25,122	26,680	26,351
1株当たり純資産額（円）	—	—	1,513.50	1,549.85	1,545.17
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	30.41	26.47	16.49	10.27	80.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（%）	—	—	80.0	77.2	77.9
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	782	1,504	—	—	2,385
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△1,313	△464	—	—	△2,153
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△677	△740	—	—	△132
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	—	—	4,847	6,455	6,156
従業員数（人）	—	—	1,296	1,353	1,397

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等を含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社1社）が営んでいる事業内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年10月31日現在

従業員数（人）	1,353 (2,785)
---------	---------------

(注) 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年10月31日現在

従業員数（人）	1,352 (2,785)
---------	---------------

(注) 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第2四半期会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間の生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

なお、同一製品が複数業態で販売されるため、業態別の生産実績は記載しておりません。

製品別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	
サラダ	5,072	93.1
神戸コロッケ	1,032	99.9
フライ	2,230	97.3
デイリーそうざい	2,213	106.3
路面店そうざい	315	68.0
ベジテリア	627	92.1
合計	11,492	95.4

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループでは見込み生産を行っておりますので該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績を事業の業態別に示すと、次のとおりであります。

業態別		当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)	前年同四半期比 (%)
		金額 (百万円)	
RF1	サラダ	4,742	107.4
	フライ	1,657	77.7
	その他そうざい	2,125	96.2
	小計	8,525	97.3
神戸コロッケ		959	94.0
いとはん・三日坊主		490	111.1
RF1 Asia・融合		250	93.8
そうざいや 地球健康家族	そうざい	260	57.6
	弁当・米飯	142	68.5
	小計	402	61.0
ベジテリア		472	92.0
その他		48	56.0
合計		11,150	94.5

(注) 1. 前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)		当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
(株)高島屋	1,343	11.39	1,248	11.20

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済対策の効果により、景気後退局面からの回復の兆しが見え始めたものの、企業収益の低迷や改善しない雇用環境による個人消費の低迷が続く等、依然として厳しい状況のまま推移いたしました。

食品業界におきましては、依然として食に対する安心・安全が求められる一方で、低価格競争の激化、雇用や所得環境の悪化傾向等の影響による生活防衛の意識の高まりにより、厳しい経営環境が継続いたしました。

このような状況の中、当社グループは食の安心と安全への取組みの強化とお客様のニーズを捉えた高品質で付加価値の高い商品の開発・提供、サービスの向上に継続して取り組んでまいりました。さらに計画的購買による原材料の安定的な確保や販売費及び一般管理費における経費のコントロール等による利益の改善に取り組んでまいりました。

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、定番商品の品質向上に継続して取り組み、安心・安全を求めるお客様の信頼に応えるような新商品の開発、こだわり素材を使った商品の展開を行う等、付加価値の高い商品の提供を行ってまいりました。また、当社の強みを活かして他ブランドの商品を用いた商品ミックスを行う等、お客様の多様なニーズにお応えしてまいりました。その結果、売上高は8,525百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、平成元年の第1号店のオープンから20周年となる感謝の気持ちを込めた「20周年アニバーサリーコロッケ」やおつまみとして利用していただける「ミニコロッケ」を展開する等、お客様に継続したご愛顧をいただけるような品揃えを行ってまいりました。その結果、売上高は959百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、「健康バランス30品目」、「静岡県産クレソン&フルーツ」等、野菜の素材とフルーツを組み合わせて飲みやすくしたジュース等を提案するとともに、夏場における冷製スープも継続した提案を行い、売上高は472百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における業績は、売上高は11,150百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益363百万円（前年同期比12.8%減）、経常利益369百万円（前年同期比12.5%減）、四半期純利益は136百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

(2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて329百万円増加し26,680百万円となりました。これは、減価償却費等により有形固定資産が270百万円減少したものの、現金及び預金が319百万円増加したこと、売掛金が233百万円増加したこと等によるものであります。

一方、負債においては、前連結会計年度末に比べて267百万円増加し、6,096百万円となりました。これは、主に長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の返済414百万円や、給与支給日変更に伴う未払給与の増加等によるものであります。

純資産においては、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、20,583百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント低下して77.2%、1株当たり純資産は1,549円85銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期連結会計期間末に比べて537百万円増加し、6,455百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は1,121百万円（前年同期比318百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益248百万円、減価償却費350百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は349百万円（前年同期比712百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出190百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は234百万円（前年同期比17百万円の増加）となりました。これは、主に長期借入金の約定返済216百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間における当社グループの研究開発活動の金額は50百万円であります。なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、回収、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成21年10月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成21年12月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,394,374	13,394,374	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	13,394,374	13,394,374	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成21年8月1日～ 平成21年10月31日	—	13,394,374	—	5,544	—	5,861

(5) 【大株主の状況】

平成21年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
岩田 弘三	兵庫県芦屋市	1,538	11.48
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内2-1-1 (東京都中央区晴海1-8-12)	656	4.89
株式会社四国銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	高知県高知市南はりまや町1-1-1 (東京都中央区晴海1-8-12)	621	4.63
ロック・フィールド取引先持株会	神戸市東灘区魚崎浜町15-2	338	2.52
ロック・フィールド社員持株会	神戸市東灘区魚崎浜町15-2	307	2.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	288	2.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	286	2.13
三菱UFJリース株式会社	東京都千代田区丸の内1-5-1	241	1.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	東京都中央区晴海1-8-11	225	1.68
ザ チェース マンハッタン バ ンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウ ント (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4-16-13)	224	1.67
計	—	4,727	35.29

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	288千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	286千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	225千株

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年10月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 113,100	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 13,270,100	132,701	—
単元未満株式	普通株式 11,174	—	—
発行済株式総数	13,394,374	—	—
総株主の議決権	—	132,701	—

(注) 「完全議決権株式 (その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、1,200株 (議決権 12個) 含まれております。

② 【自己株式等】

平成21年10月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社 ロック・フィールド	神戸市東灘区魚崎浜 町15番地2	113,100	—	113,100	0.84
計	—	113,100	—	113,100	0.84

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 5月	6月	7月	8月	9月	10月
最高 (円)	1,195	1,250	1,210	1,220	1,269	1,271
最低 (円)	1,152	1,180	1,172	1,186	1,193	1,194

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年8月1日から平成20年10月31日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成20年10月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成21年10月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年8月1日から平成20年10月31日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成20年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第2四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,575	6,256
売掛金	3,458	3,225
製品	54	56
仕掛品	73	56
原材料及び貯蔵品	160	167
その他	522	550
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,843	10,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,714	8,987
機械装置及び運搬具（純額）	566	598
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	19	2
その他（純額）	788	769
有形固定資産合計	※ 13,091	※ 13,361
無形固定資産		
	237	245
投資その他の資産		
投資有価証券	344	350
差入保証金	664	534
長期預金	900	900
繰延税金資産	153	108
その他	455	548
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,508	2,433
固定資産合計	15,837	16,040
資産合計	26,680	26,351

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,107	1,137
1年内返済予定の長期借入金	474	673
未払法人税等	415	392
賞与引当金	567	539
その他	2,375	1,732
流動負債合計	4,939	4,474
固定負債		
長期借入金	986	1,201
その他	170	152
固定負債合計	1,157	1,354
負債合計	6,096	5,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	9,405	9,345
自己株式	△208	△208
株主資本合計	20,601	20,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17	△20
評価・換算差額等合計	△17	△20
純資産合計	20,583	20,521
負債純資産合計	26,680	26,351

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
売上高	23,570	22,347
売上原価	10,428	9,689
売上総利益	13,141	12,658
販売費及び一般管理費	※1 12,357	※1 11,870
営業利益	784	788
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2	1
保険配当金	7	9
その他	13	12
営業外収益合計	25	27
営業外費用		
支払利息	8	10
その他	2	0
営業外費用合計	10	11
経常利益	799	804
特別利益		
過年度損益修正益	—	※2 1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	27	21
店舗閉鎖損失	—	※3 22
投資有価証券評価損	—	14
出資金評価損	—	70
特別損失合計	27	130
税金等調整前四半期純利益	772	675
法人税等	※4 368	※4 324
四半期純利益	403	351

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)
売上高	11,797	11,150
売上原価	5,225	4,857
売上総利益	6,571	6,293
販売費及び一般管理費	※1 6,154	※1 5,929
営業利益	417	363
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	0	0
その他	7	8
営業外収益合計	9	10
営業外費用		
支払利息	3	5
その他	1	0
営業外費用合計	4	5
経常利益	421	369
特別利益		
過年度損益修正益	—	※2 1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	9	13
店舗閉鎖損失	—	※3 22
投資有価証券評価損	—	14
出資金評価損	—	70
特別損失合計	9	122
税金等調整前四半期純利益	412	248
法人税等	※4 193	※4 112
四半期純利益	219	136

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	772	675
減価償却費	703	690
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△74	27
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	8	10
固定資産除却損	27	21
店舗閉鎖損失	—	22
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	14
出資金評価損	—	70
売上債権の増減額 (△は増加)	△0	△232
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20	△8
仕入債務の増減額 (△は減少)	29	△29
未払費用の増減額 (△は減少)	—	488
その他	△22	115
小計	1,418	1,863
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△8	△10
法人税等の支払額	△631	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	782	1,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△20
有形固定資産の取得による支出	△1,209	△281
有形固定資産の売却による収入	20	1
無形固定資産の取得による支出	△22	△44
投資有価証券の取得による支出	△14	△6
長期前払費用の取得による支出	△79	△34
差入保証金の回収による収入	28	58
差入保証金の差入による支出	△18	△136
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,313	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△375	△414
リース債務の返済による支出	△9	△34
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△292	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△677	△740
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,211	299

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	6,058	6,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 4,847	※ 6,455

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成21年5月1日
至 平成21年10月31日)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「未払費用の増減額(△は減少)」は重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「未払費用の増減額(△は減少)」は8百万円であります。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末 (平成21年4月30日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額は、11,800百万円であります。	※ 有形固定資産の減価償却累計額は、11,340百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)																		
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>支払手数料</td> <td>3,035百万円</td> </tr> <tr> <td>給料及び賞与</td> <td>4,233百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入</td> <td>306百万円</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> </tr> </table> <p>※4. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	3,035百万円	給料及び賞与	4,233百万円	賞与引当金繰入	306百万円	_____		_____		<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>支払手数料</td> <td>2,823百万円</td> </tr> <tr> <td>給料及び賞与</td> <td>4,172百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入</td> <td>397百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 過年度損益修正益は役員生命保険に対する過年度の積立配当金であります。</p> <p>※3. 店舗閉鎖損失は路面店不採算店舗退店に伴う損失であり、内訳は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>減損損失</td> <td>22百万円</td> </tr> </table> <p>※4. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	2,823百万円	給料及び賞与	4,172百万円	賞与引当金繰入	397百万円	減損損失	22百万円
支払手数料	3,035百万円																		
給料及び賞与	4,233百万円																		
賞与引当金繰入	306百万円																		

支払手数料	2,823百万円																		
給料及び賞与	4,172百万円																		
賞与引当金繰入	397百万円																		
減損損失	22百万円																		

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)																		
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>支払手数料</td> <td>1,530百万円</td> </tr> <tr> <td>給料及び賞与</td> <td>2,117百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入</td> <td>147百万円</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> </tr> </table> <p>※4. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	1,530百万円	給料及び賞与	2,117百万円	賞与引当金繰入	147百万円	_____		_____		<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>支払手数料</td> <td>1,417百万円</td> </tr> <tr> <td>給料及び賞与</td> <td>2,080百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入</td> <td>227百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 過年度損益修正益は役員生命保険に対する過年度の積立配当金であります。</p> <p>※3. 店舗閉鎖損失は路面店不採算店舗退店に伴う損失であり、内訳は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>減損損失</td> <td>22百万円</td> </tr> </table> <p>※4. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	1,417百万円	給料及び賞与	2,080百万円	賞与引当金繰入	227百万円	減損損失	22百万円
支払手数料	1,530百万円																		
給料及び賞与	2,117百万円																		
賞与引当金繰入	147百万円																		

支払手数料	1,417百万円																		
給料及び賞与	2,080百万円																		
賞与引当金繰入	227百万円																		
減損損失	22百万円																		

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年10月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 13,394,374株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 113,105株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年7月29日 定時株主総会	普通株式	292	22	平成21年4月30日	平成21年7月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議予定)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年12月15日 取締役会	普通株式	159	12	平成21年10月31日	平成22年1月18日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年8月1日至平成20年10月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成20年10月31日)

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年8月1日至平成20年10月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成20年10月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年8月1日至平成20年10月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成20年10月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(有価証券関係)

有価証券の当四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)		前連結会計年度末 (平成21年4月30日)	
1株当たり純資産額	1,549.85円	1株当たり純資産額	1,545.17円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	30.41円	1株当たり四半期純利益金額	26.47円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	403	351
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	403	351
期中平均株式数(千株)	13,281	13,281

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	16.49円	1株当たり四半期純利益金額	10.27円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	219	136
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	219	136
期中平均株式数(千株)	13,281	13,281

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成21年12月15日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額……………159百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………12円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成22年1月18日

(注) 平成21年10月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年12月10日

株式会社ロック・フィールド

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 辻内 章 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロック・フィールドの平成20年5月1日から平成21年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年8月1日から平成20年10月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成20年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロック・フィールド及び連結子会社の平成20年10月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年12月7日

株式会社ロック・フィールド

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 辻内 章 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロック・フィールドの平成21年5月1日から平成22年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロック・フィールド及び連結子会社の平成21年10月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。